

2003年3月期中間決算ならびに 経営の推進状況について

**2002年11月15日
株式会社セゾン情報システムズ**

■ 2003年3月期中間決算(2002/9)について

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9) 中間決算概要(連結)

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

- **上方修正** 中間期の各利益が当初予想を大幅に上回り10月22日に業績予想修正を発表。
- **売上** 各事業品目が前中間期を上回り、堅調に推移。前中間期比4.2%の伸長。
- **利益** 営業利益、経常利益が前中間期比30%超、中間純利益50%超の大幅伸長。
- **利益率** 経営目標指標とする経常利益率は、前中間期比2.3ポイント改善の10.6%に。

連 結		A 当中間期 2002/9	B 前中間期 2001/9	A/B－1 対前中間期 増減率	C 当中間期 当初予想	A/C－1 対当初予想 増減率
売上高	百万円	10,482	10,057	+4.2%	10,180	+3.0%
売上総利益	百万円	2,680	2,452	+9.3%	—	—
営業利益	百万円	1,086	818	+32.7%	—	—
経常利益	百万円	1,111	832	+33.5%	800	+38.9%
中間純利益	百万円	585	377	+55.1%	410	+42.6%
中間純利益／株	円	72.35	46.64	+55.1%	50.72	+42.6%
経常利益率	%	10.6	8.3	+2.3P	7.9	+2.7P

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9) 中間決算概要(個別)

- **上方修正** 中間期の各利益が当初予想を大幅に上回り10月22日に業績予想修正を発表。
- **売上** 子会社への営業譲渡があり、前中間期比0.6%の微減。
- **利益** 経費節減効果により経常利益が前中間期比21%、中間純利益が45%の増加。

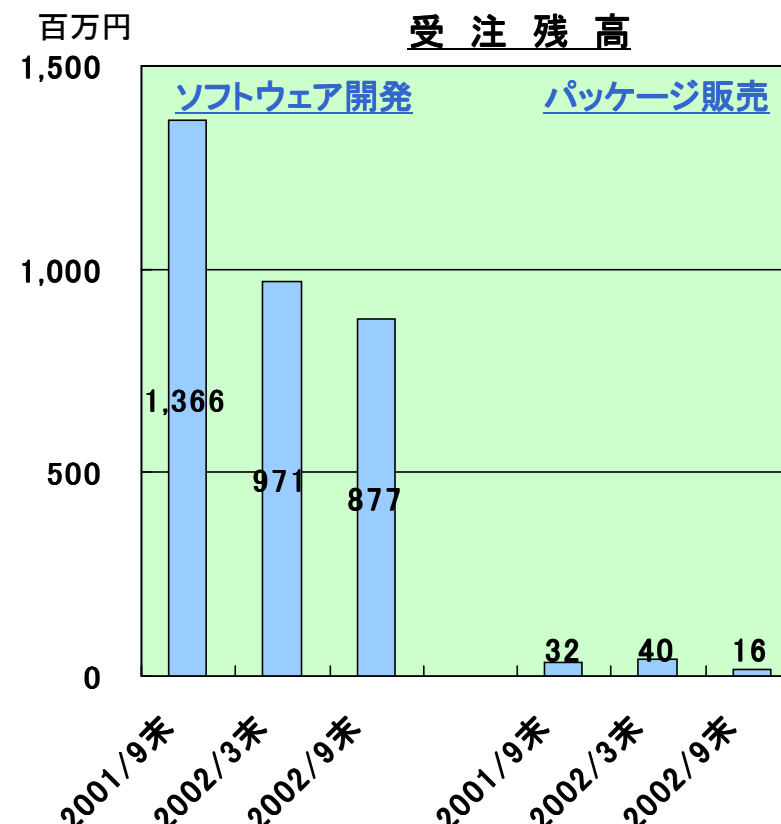
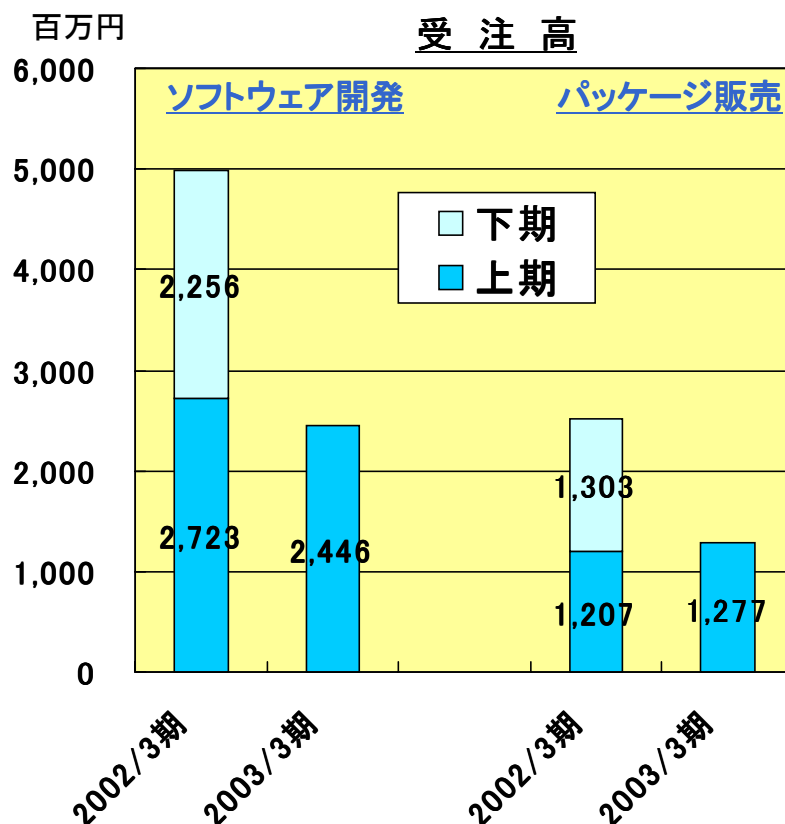
< ご 参 考 >

個 別		A 当中間期 2002/9	B 前中間期 2001/9	A/B－1 対前中間期 増減率	C 当中間期 当初予想	A/C－1 対当初予想 増減率
売上高	百万円	9,685	9,740	△0.6%	9,448	+2.5%
売上総利益	百万円	2,279	2,236	+1.9%	—	—
営業利益	百万円	823	694	+18.5%	—	—
経常利益	百万円	857	708	+21.0%	670	+27.9%
中間純利益	百万円	439	303	+45.1%	336	+30.8%
中間純利益／株	円	54.32	37.43	+45.1%	41.54	+30.8%
経常利益率	%	8.9	7.3	+1.6P	7.1	+1.8P

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9)

受注実績(連結)

- IT投資抑制の影響を受け、受注高、受注残高とも低調。
- 当社の売上のうち、65%はストック型ビジネスであり、受注減少の影響は受けにくい。



(注) 当中間連結会計期間より、通信サービスについては独自性が薄れたため区分を廃止し、その内ネットワーク構築についてはソフトウェア開発に、またパッケージ販売に計上していた他社パッケージ販売は、システム・機器販売に計上しております。
グラフ上では、前中間期の受注高、受注残高は当中間期に基準を合わせて表示しております。

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9) 事業品目別売上高(連結)

- 情報処理サービス 十合からの受託(2001/6～)のフル寄与。Bulas顧客増。
- ソフトウェア開発 サービス向けシステム構築活発。
- パッケージ販売 HULFTが当初予想を下回ったが、製造業・官公庁向け好調で7.4%増。
- システム・機器販売 サービス向けシステム構築活発。

(百万円, %)

事業品目別 売上高	A 当中間期 2002/9	B 前中間期 2001/9	A/B-1 対前中間 期増減率	C 当中間期 当初予想	A/C-1 対当初予想 増減率
情報処理サービス	5,480	5,280	+3.8%	5,380	+1.9%
ソフトウェア開発	2,540	2,465	+3.0%	2,402	+5.7%
パッケージ販売	1,301	1,212	+7.4%	1,356	-4.0%
システム・機器販売	1,159	1,099	+5.5%	1,040	+11.4%
合 計	10,482	10,057	+4.2%	10,180	+3.0%

(注) 前期まで5事業品目に区分しておりましたが、「通信サービス」については独自性が薄れたため区分を廃止し、その内データ通信等を「情報処理サービス」に、ネットワーク構築を「ソフトウェア開発」に計上しております。また「パッケージ販売」に計上していた他社パッケージ販売は、「システム・機器販売」に計上しております。
表上では、前中間期の各事業品目の売上高を当中間期と基準を合わせて表示しております。

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9)

顧客別グループ内外別売上高(連結)



■セゾングループ外 構成比が前中間期より1.2ポイント拡大し、41.2%となる。

(百万円, %)

顧客別 グループ内外別 売上高	当中間期(2002/9)		前中間期(2001/9)		備考 (主な増減要因等)
	A 売上高	構成比	A 売上高	構成比	
セゾングループ内	6,163	58.8%	6,032	60.0%	
クレディセゾン	2,669	25.5%	2,664	26.5%	開発 増、機器 減。 大きな変化なし。 処理 減。 サービサー業向け増。
西友	1,316	12.6%	1,302	12.9%	
西武百貨店	880	8.4%	976	9.7%	
その他グループ内	1,296	12.4%	1,089	10.8%	
グループ外	4,318	41.2%	4,025	40.0%	十合、HULFT、Bulas増。
合 計	10,482	100.0%	10,057	100.0%	

2003年3月期(2002/4～2002/9)

外注費(連結)

外注費	当期(2002/9)			前期(2001/9)			備 考
	A. 売上高 (百万円)	B. 外注費 (百万円)	B/A %	A. 売上高 (百万円)	B. 外注費 (百万円)	B/A %	
情報処理サービス	5,480	465	8.5	5,280	442	8.4	Bulas外注増。 新製品開発強化、コールセンター強化。
ソフトウェア開発	2,540	871	34.3	2,465	808	32.8	
パッケージ販売	1,301	63	4.9	1,212	31	2.6	
システム・機器販売	1,159	—	—	1,099	—	—	
合 計	10,482	1,400	13.4	10,057	1,282	12.7	

(注) 前期まで5事業品目に区分しておりましたが、「通信サービス」については独自性が薄れたため区分を廃止し、その内データ通信等を「情報処理サービス」に、ネットワーク構築を「ソフトウェア開発」に計上しております。また「パッケージ販売」に計上していた他社パッケージ販売は、「システム・機器販売」に計上しております。
表上では、前中間期の各事業品目の売上高を当中間期と基準を合わせて表示しております。

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9) 事業品目別売上総利益率(連結)

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

- 情報処理サービス マシン効率利用促進[+3.4P]、前期大規模投資に伴う施設管理費減[+1.2P]、アウトソーシング強化に伴う労務費増[-2.0P]、その他[-0.1P]。
- ソフトウェア開発 労務費減[+1.3P]、仕掛増減[+1.4P]、外注費増[-1.5P]、その他[-0.5P]。
- パッケージ販売 新製品開発強化と海外サポート開始に伴う外注費増[-2.3P]、その他[-0.1P]。
- システム・機器販売 利益率の低い大型案件あり[-2.0P]。

事業品目別 売上総利益率	当中間期(2002/9)			前中間期(2001/9)		
	A 売上高 (百万円)	B 売上総利益 (百万円)	A/B %	A 売上高 (百万円)	B 売上総利益 (百万円)	A/B %
情報処理サービス	5,480	1,267	23.1%	5,280	1,090	20.6%
ソフトウェア開発	2,540	315	12.4%	2,465	287	11.7%
パッケージ販売	1,301	974	74.9%	1,212	936	77.3%
システム・機器販売	1,159	123	10.6%	1,099	138	12.6%
合 計	10,482	2,680	25.6%	10,057	2,452	24.4%

- (注)1. この売上総利益は、管理会計の数値です。
2. 前期まで5事業品目に区分しておりましたが、「通信サービス」については独自性が薄れたため区分を廃止し、その内データ通信等を「情報処理サービス」に、ネットワーク構築を「ソフトウェア開発」に計上しております。また「パッケージ販売」に計上していた他社パッケージ販売は、「システム・機器販売」に計上しております。
- 表上では、前中間期の各事業品目の売上高及び売上総利益を当中間期と基準を合わせて表示しております。

2002年4月23日認可 厚生年金基金代行返上について

中間決算短信P14(「③退職給付引当金(追加情報)」ご参照)

厚生年金の代行部分について厚生労働大臣から将来分支給義務免除の認可を受けた。

2002/4/23
代行返上認可

2003/3中間期(2002/9)
経過措置適用せず

退職給付会計に関する実務指針(中間報告)に定める経過措置を適用しない(特益を計上しない)。
《適用した場合の影響額》:1,204百万円(見込み)。

認可以降
原価、販管費減

年間2億円弱の営業利益改善影響あり。

(百万円)

今期への影響(試算)	上期	下期	通期
売上原価	62	62	125
販売管理費	30	30	60
合計	93	93	186

国庫負担率の改定?

2003秋
代行返上実施

国庫負担率改定の影響を含めて、代行返上実施時期に特別損益を計上する方針。

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9)

販売費及び一般管理費(連結)

販売費及び 一般管理費		当中間期(2002/9)		前中間期(2001/9)		備 考
		A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	
人 件 費		989	9.4%	1,036	10.3%	退職給付費用減、 業績連動賞与引当減。 前期サンシャインビル入居。
借 家 料 等		106	1.0%	155	1.5%	
広 告 宣 伝 費		106	1.0%	96	1.0%	
減 価 償 却 費		47	0.5%	41	0.4%	
試 験 研 究 費 そ の 他		55 288	0.5% 2.8%	35 268	0.4% 2.7%	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,593	15.2%	1,633	16.2%	前比△2.5%、売上高構成 比は1.0ポイント改善。

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9)

営業外収支・特別損益(連結)

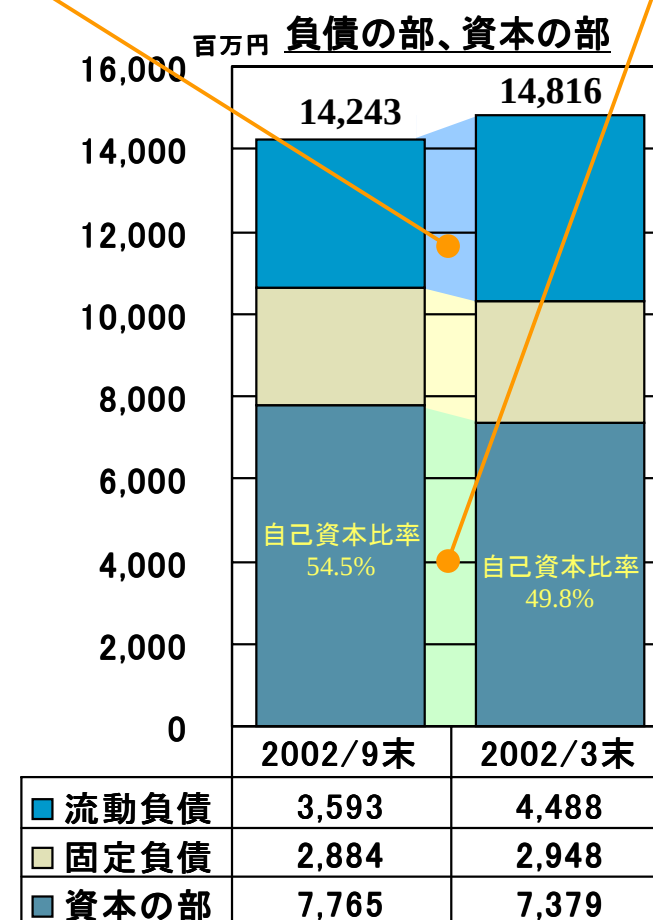
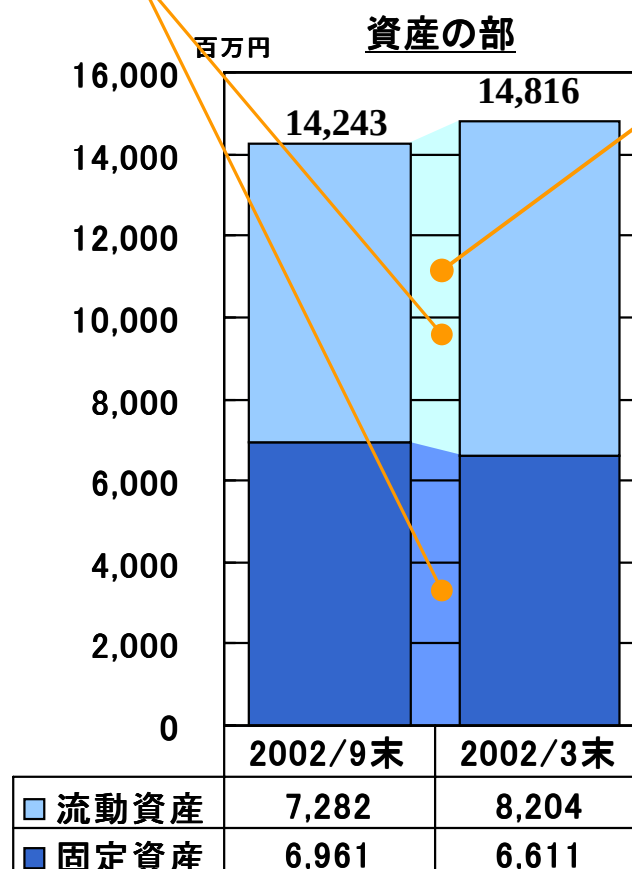
営業外収支・ 特別損益		当中間期(2002/9)		前中間期(2001/9)		備 考
		A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	
営業外収益		25	0.2%	17	0.2%	世田谷ビルの賃貸収入。
営業外費用		0	0.0%	4	0.0%	
営業外収支		24	0.2%	13	0.1%	
投資有価証券売却益		—		1		
その他		1		—		
特別利益		1	0.0%	1	0.0%	
固定資産処分損		10		136		
投資有価証券評価損		60		—		
その他		—		32		
特別損失		71	0.7%	169	1.7%	
特別損益		-69	-0.7%	-168	-1.7%	

2003年3月期中間期(2002/9末) 連結貸借対照表

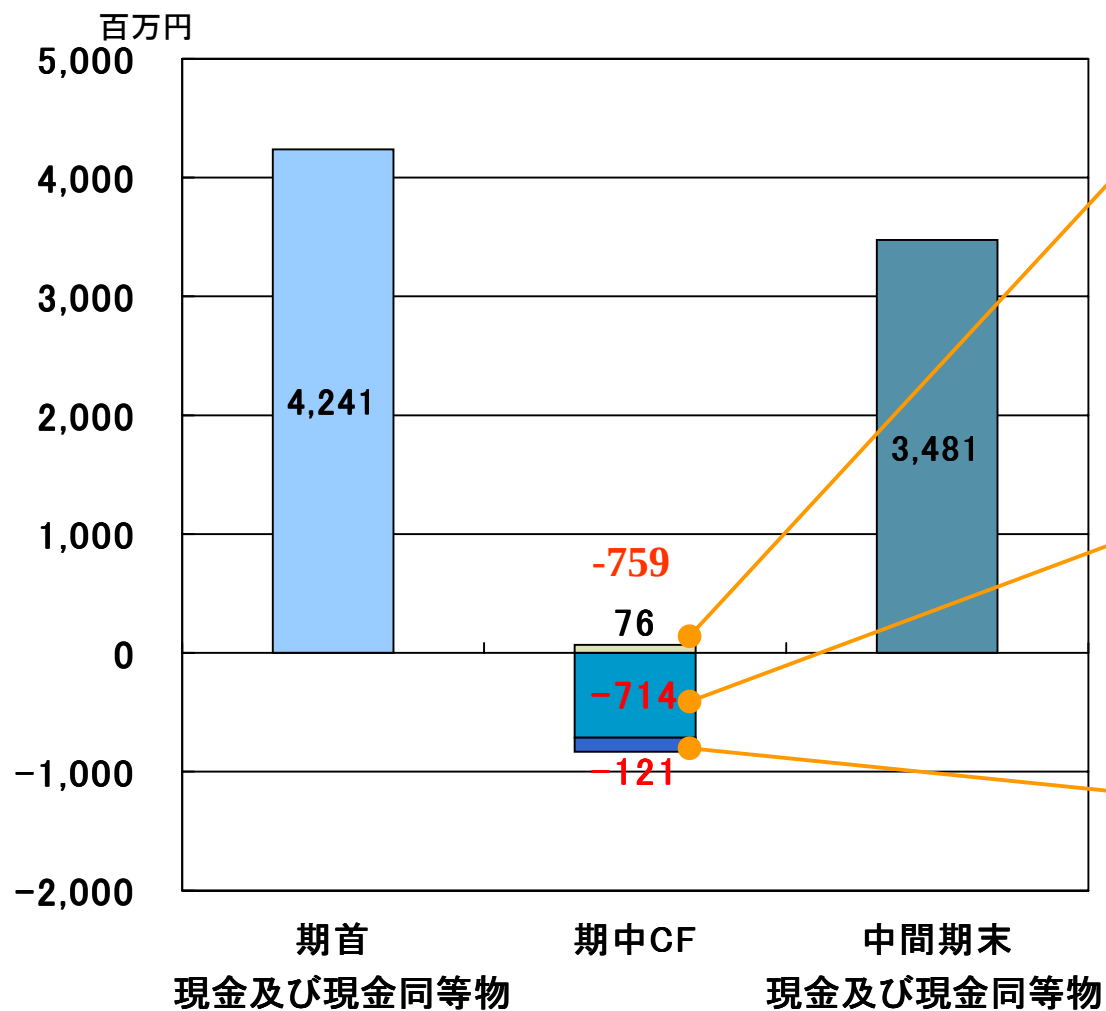
■クレディセゾン株式購入(379百万円)
→現預金が減、投資有価証券が増。

■買掛金、法人税等の支払
→買掛金、未払法人税等が減、現預金が減。

■利益剰余金



2003年3月期中間期(2002/4～2002/9) 連結キャッシュ・フロー



営業活動によるCF:

税金等調整前中間純利益[1,041]
減価償却費[212]
固定資産処分損[10]
賞与引当金[164]
退職給付引当金[-3]
売上債権[74]
たな卸資産 [223]
仕入債務[-498]
法人税等支払[-497] 等

投資活動によるCF:

投資有価証券取得[-379]
有形固定資産取得[-206]
その他の投資の取得[-135] 等

財務活動によるCF:

配当金支払[-121]

2003年3月期中間期(2002/4～2002/9) 連結子会社の概況



(2002年9月末現在)

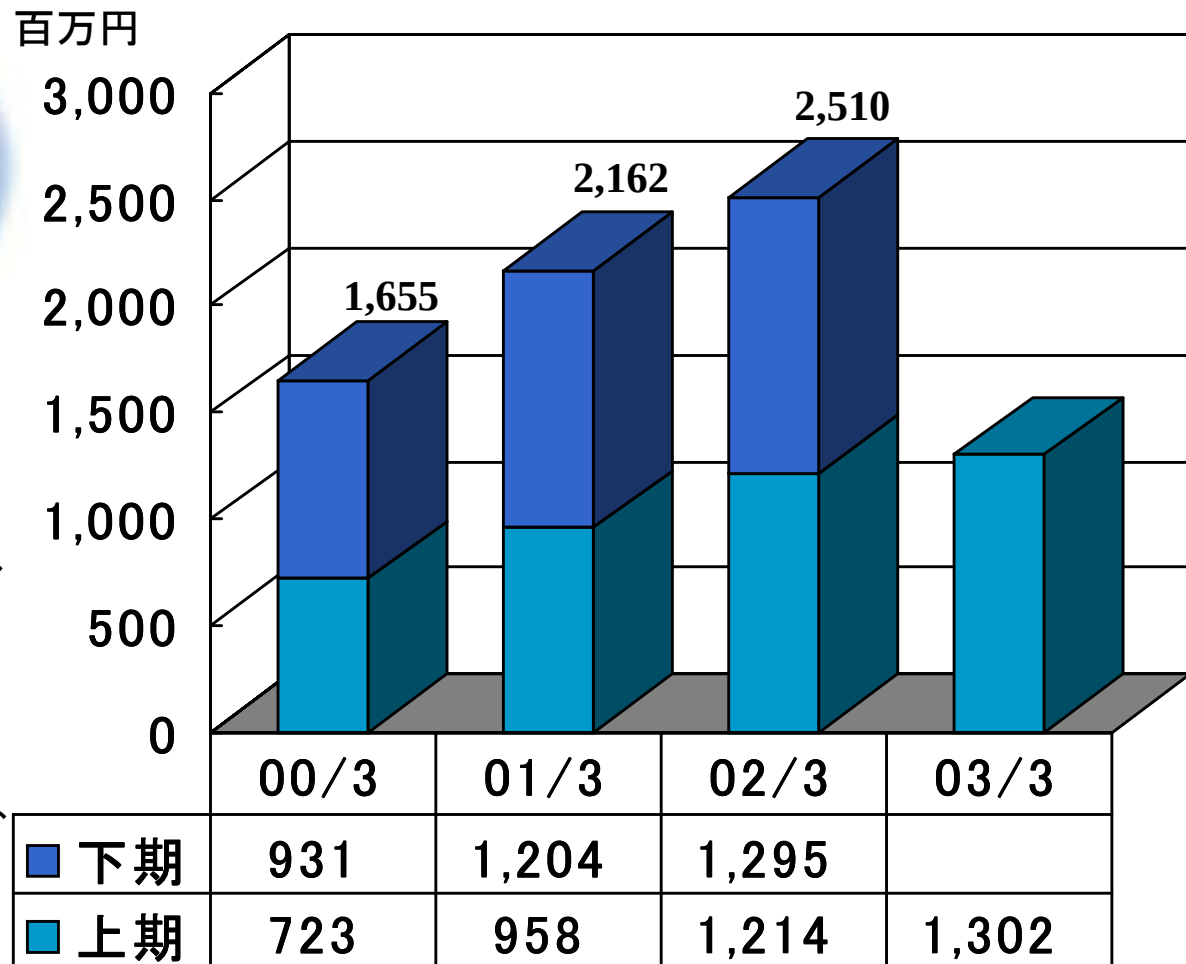
社 名	事 業 内 容	資本金 百万円	持 株 比 率	売上高(百万円)		備 考
				当中間期 2002/9	前中間期 2001/9	
株式会社 流通情報 ソリューションズ	流通業向け 情報サービス	90	100%	2,048	811	2002年4月、百貨店業向け事業を営業譲渡。情報処理サービスを当社へ再委託。
株式会社 ファシリティ エキスパート サービスズ	情報処理 オペレーション サービス	60	100%	385	344	

■ 事業の推進状況について

当社の花形商品《HULFT》 上期下期別売上高の推移

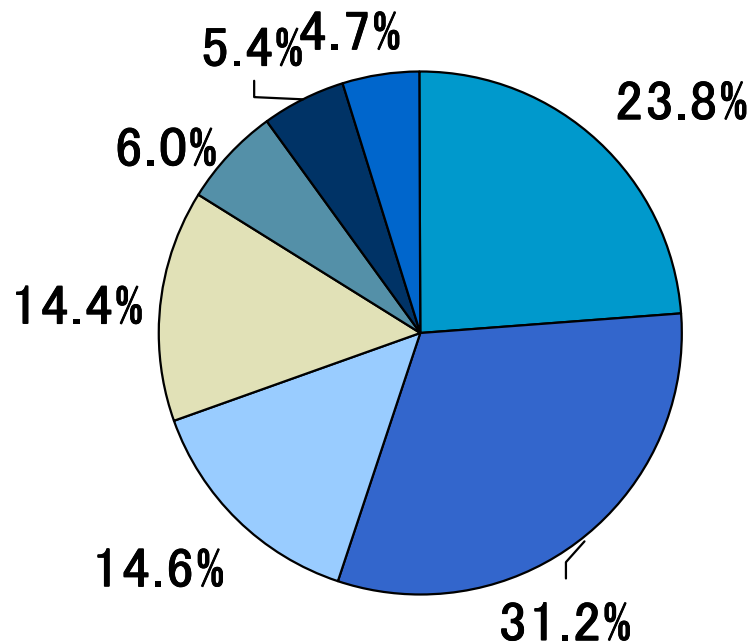


「HULFT」は、当社が開発・販売するオープンネットワーク上での異機種間ファイル転送を自動化する通信ミドルウェアです。国内では圧倒的なシェアを有し、①基幹系システムと情報系システムの連携、②企業統合・再編、③SCM(サプライチェーンマネジメント)、④データウェアハウスの構築とデータマイニングへの活用、⑤ERPとの連携など、様々なデータ連携が必要とされる局面において、「ファイル転送ならHULFT」とデ・ファクト・スタンダードに位置付けられています。



当社の花形商品《HULFT》 ユーザ業種別売上比率と売上伸び率

HULFTユーザ業種別売上状況
2003/3中間期

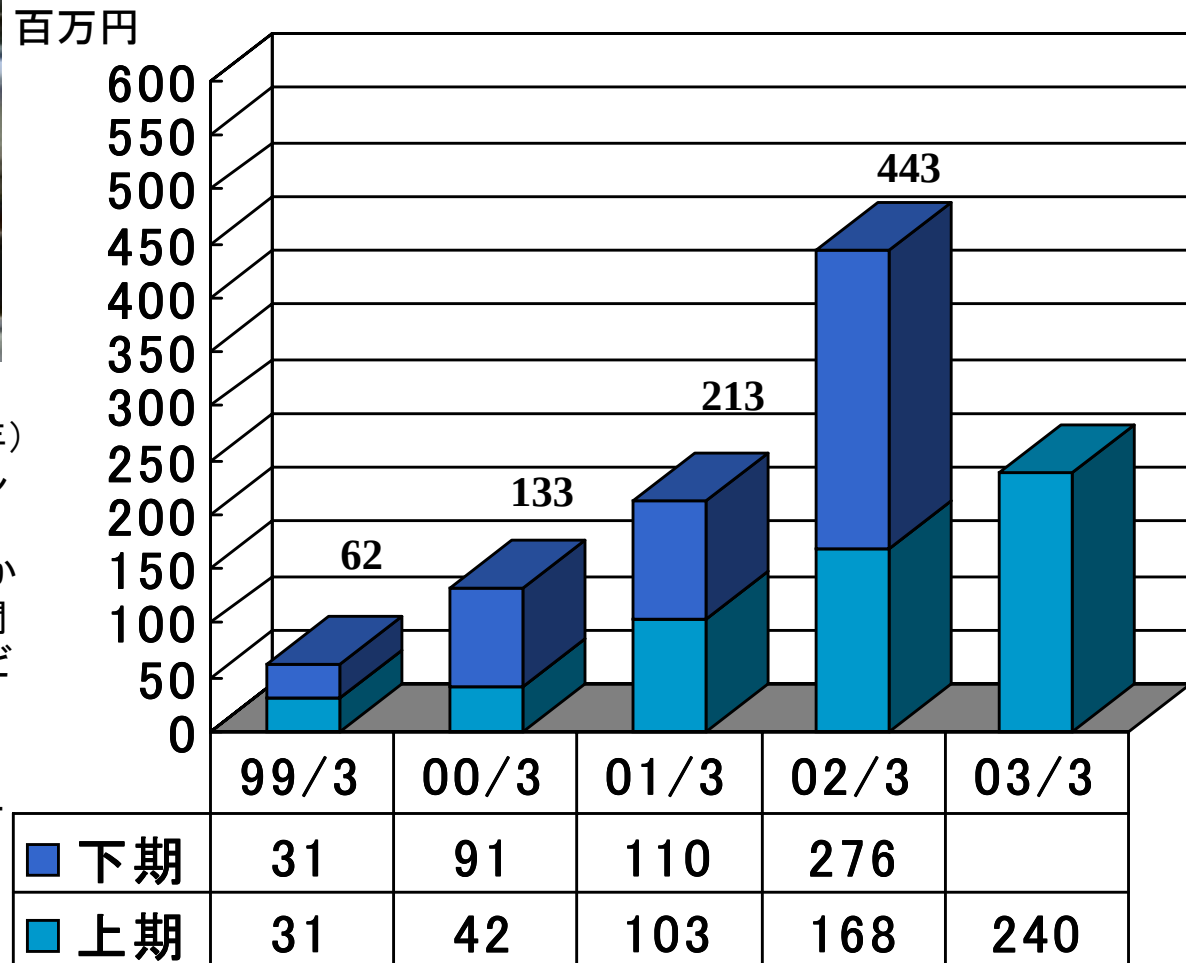


業種	(対前中間期増減率)
情報・通信	(-18.3%)
製造	(+19.9%) 化学・食料品・電機・医薬品等 好調。
流通・サービス	(-7.7%)
金融	(-1.5%) 銀行が金融の約6割。
公共	(+927.3%) 中央官庁4割。地方自治体3割。
その他	(-9.0%)
ディストリビュータ 経由	(+2.3%) 店頭販売・通信販売。業種不明。

給与業務アウトソーシングサービス《Bulas》 売上の推移



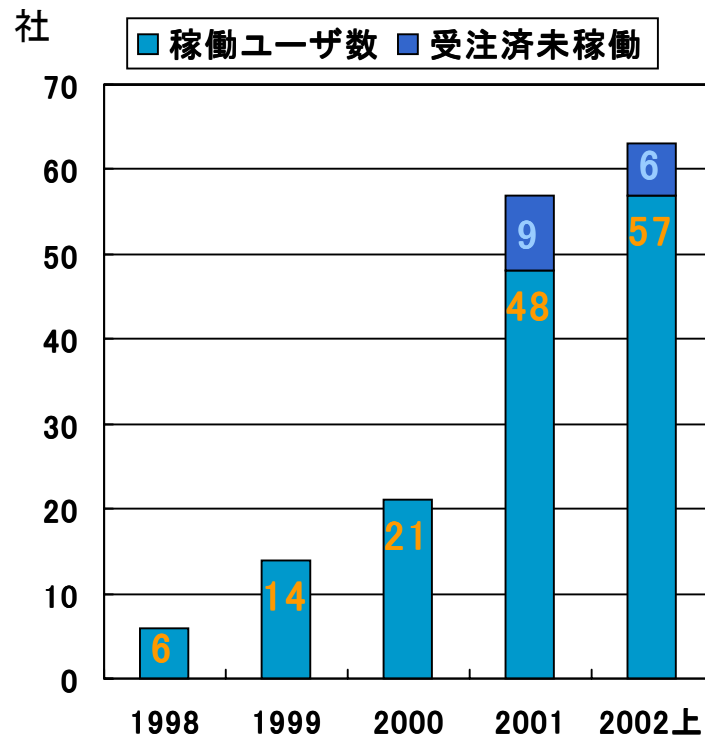
「Bulas」は、当社の設立(1970年)以来行なってきた主としてセゾングループ向けの給与業務アウトソーシングサービスを、1998年から一般市場向けに汎用化し展開しているアプリケーション・サービスです。
このページの売上高には、従来型のセゾングループ向けの売上を除いております。



給与業務アウトソーシングサービス《Bulas》 稼働ユーザ数の推移



- BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)事業としての一大発展を期するため、新システム構想を含む戦略を策定中。
- 効率向上のためのプロセス改善実施中。



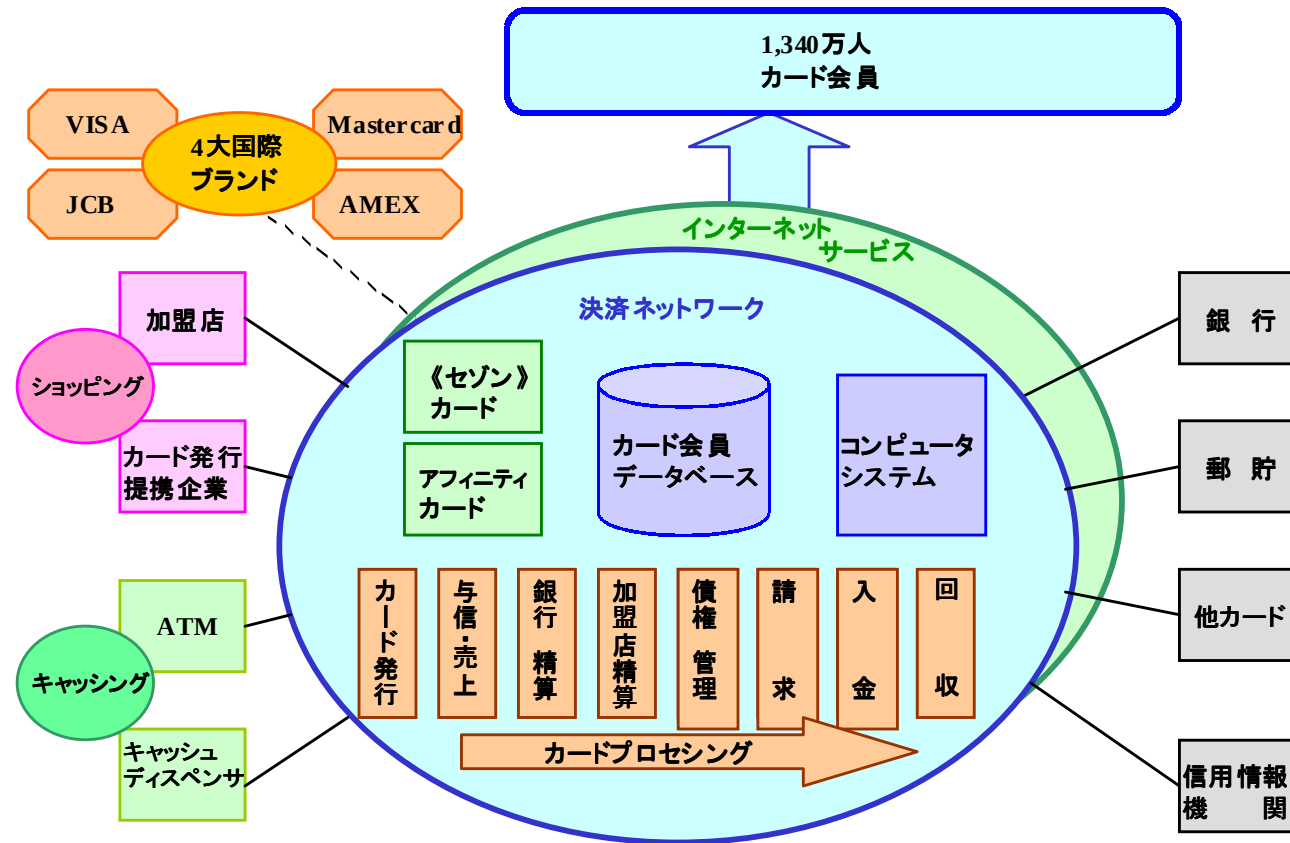
(注)稼働ユーザ数は、合併等による影響を過去に遡って調整しております。

Bulasの導入実績例

業種等	従業員数	備考
外資系医療機器メーカー	1,800人	世界最大規模の医療機器メーカー。
外資系情報サービス	350人	世界最大のITアウトソーサ。
外資系レコード制作	250人	著名アーティストを数多く抱えるレーベル企業。
外資系医薬品	450人	臨床検査器、試薬製造・販売。
国内食品製造・販売	3,600人	全国に展開する惣菜・弁当等の製造・加工・販売企業。
国内石油卸売	800人	東証一部上場。石油卸売業。
外資系アパレル	2,100人	CMでおなじみの外資系下着メーカー。
外資系銀行	2,000人	
国内小売・通販	1,300人	世界各地の雑貨、民芸品、酒類等おみやげ物を販売。
国内販売	130人	パソコン販売。

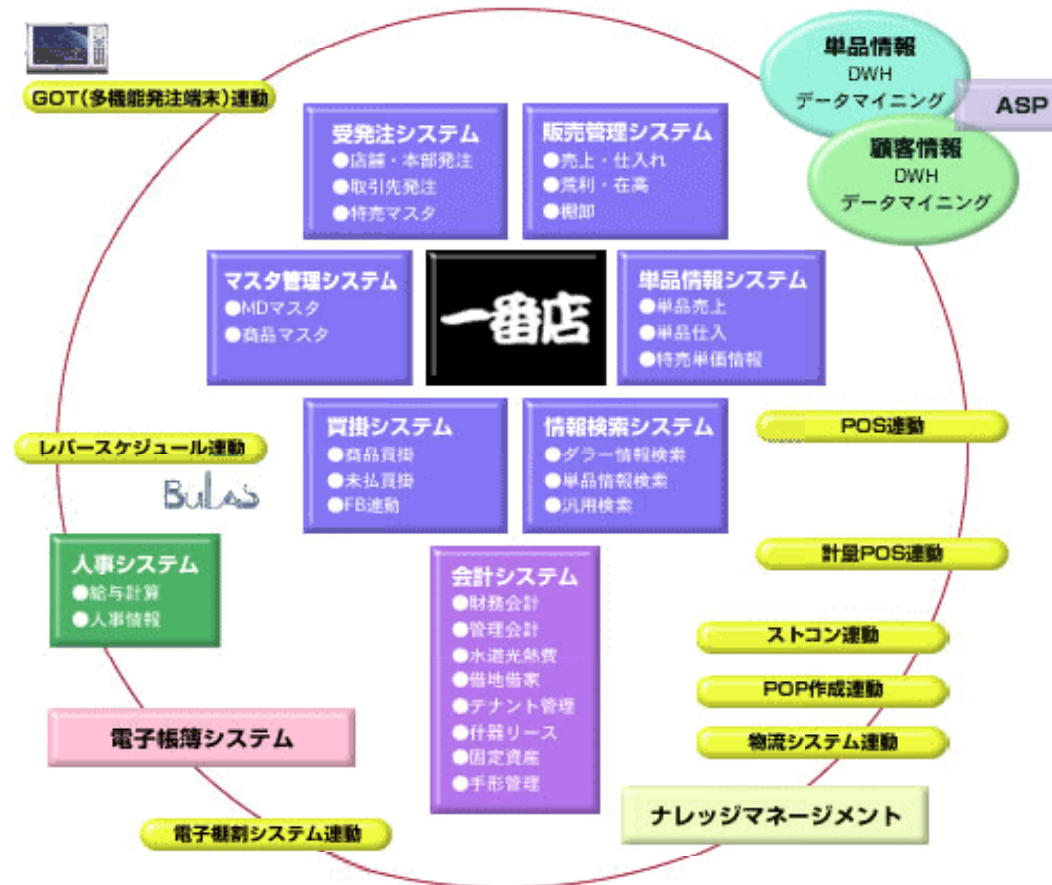
金融システム事業の順調な拡大 カードビジネス、サービサー向け

- クレディセゾンのカードビジネスの展開に対応したシステムインテグレーション、アウトソーシングの拡充。
- 回収サービサー向けシステム構築の拡大。



スーパーマーケット向けアウトソーシングサービス 一番店の顧客開拓と次期システム投資

- スーパーマーケット向けのアウトソーシングサービス「一番店」の本格展開。
 - 地方スーパーマーケットや高級食品チェーン等4社に採用済。
 - さらに有力商談進展中。
- 新しいアウトソーシングの柱として「New一番店」開発に着手。
 - .NETベース。
 - 機能の整備とコンポーネント化。
- 30店舗程度展開のチェーンストアを狙う



■ 情報・ソフト業界の中での位置付け

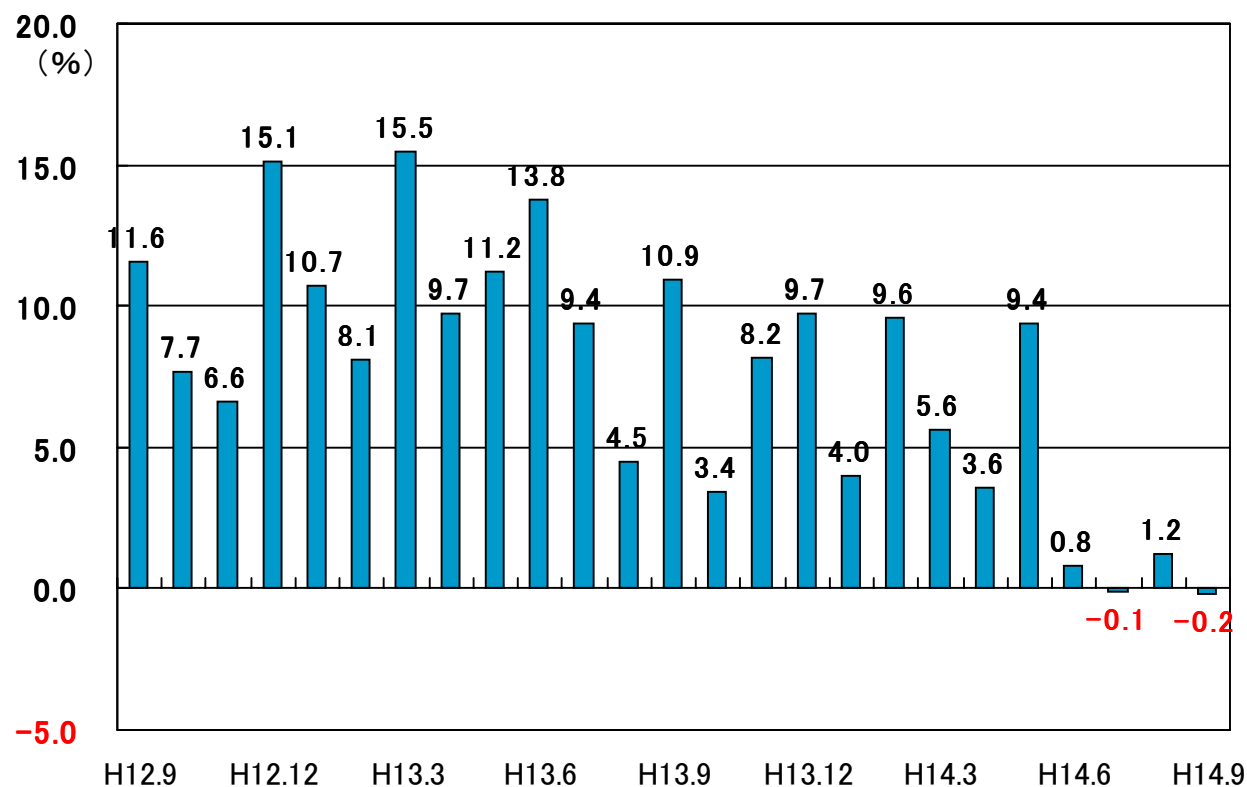
特サビ動態統計

情報サービス業売上高 前年同月比の推移



■今年6月頃から前年同月比指標が急速に悪化し、7月には27ヶ月ぶりに前年割れを記録。

情報サービス業売上高 前年同月比の推移



出典: 経済産業省 特定サービス産業動態統計・平成14年9月分(速報)

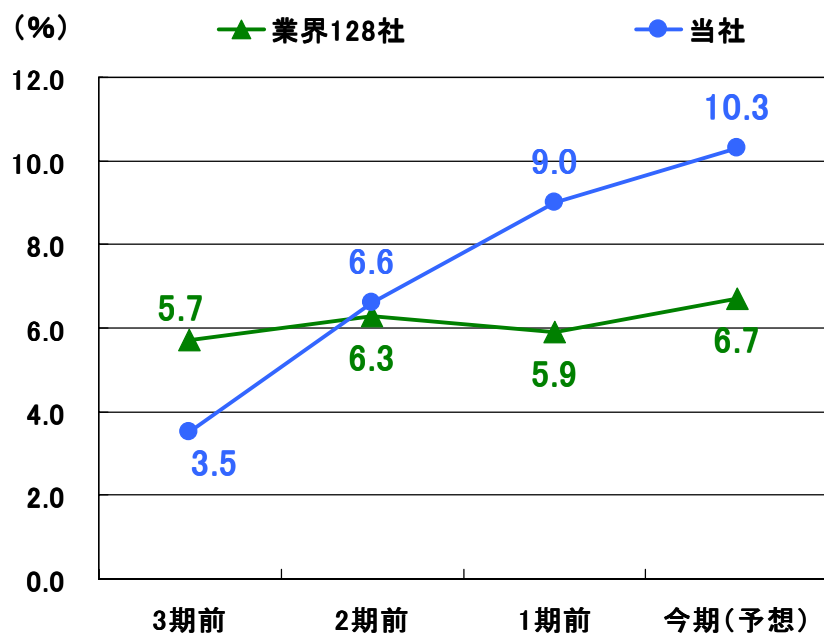
情報・ソフト業界の中での位置付け

経常利益率・経常利益順位

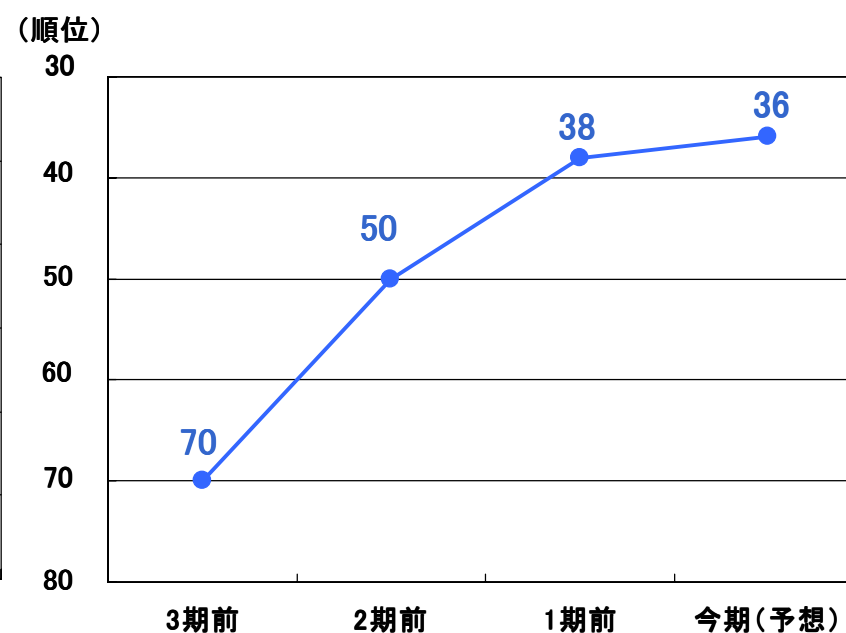


■当社は、事業ポートフォリオの革新により収益体質を強化してきた結果、業界他社と比べ、経常利益率、経常利益順位の上昇が顕著となっている。

経常利益率の推移



経常利益順位の推移



東証一部39社、東証二部18社、ジャスダック71社、合計128社を連結ベースで当社が集計。
今期予想は、各社の11月12日発表分までを反映。



■ 下期および通期の予想

通期予想 事業品目別売上高(連結)



- 下期は、産業界のIT投資環境が、当初予想通りには回復の見込みがないため、当初予想と比べソフトウェア開発、パッケージ販売を慎重に見込んだ。
- 上期実績が当初予想を上回ったため、通期修正予想は当初予想を上回る。

(百万円, %)

事業品目別売上高	上期実績			下期予想			通期予想		
	金額	当初 予想差	前年比	金額	当初 予想差	前年比	金額	当初 予想差	前年比
情報処理サービス	5,480	+100	+3.8%	5,537		△ 2.2%	11,018	+100	+0.7%
ソフトウェア開発	2,540	+137	+3.0%	3,024	△ 107	+14.1%	5,565	+30	+8.8%
パッケージ販売	1,301	△ 54	+7.4%	1,464	△ 134	+13.0%	2,766	△ 188	+10.3%
システム・機器販売	1,159	+118	+5.5%	1,050		△ 8.8%	2,209	+118	△ 1.8%
合計	10,482	+302	+4.2%	11,077	△ 242	+2.9%	21,560	+60	+3.6%

通期予想 損益計算書(連結)

- 数年来実行してきた「事業ポートフォリオの革新」と「将来の変動リスクの極力排除」が実を結びつつあり、セゾン厚生年金基金代行返上(4月認可)による退職給付費用圧縮(売上原価125百万円/年、販売管理費60百万円/年)も寄与。
- 売上高が前期比3.6%増に対し、売上総利益は同7.0%増(同率0.8ポイント改善の25.7%)、経常利益は同18.8%増(同率1.3ポイント改善の10.3%)、当期利益は同27.8%増(同率1.0ポイント改善の5.6%)を予想。

(百万円, %)

事業品目別売上高	上期実績		下期予想		通期予想	
	金額	前上期比	金額	前下期比	金額	前期比
売上高	10,482	+4.2%	11,077	+2.9%	21,560	+3.6%
売上原価	7,802	+2.6%	8,220	+2.3%	16,023	+2.5%
売上総利益	2,680	+9.3%	2,856	+4.9%	5,536	+7.0%
販売管理費	1,593	△ 2.5%	1,750	+3.4%	3,344	+0.5%
営業外収支	24	+77.8%	12	△ 7.5%	37	+34.8%
経常利益	1,111	+33.5%	1,118	+7.1%	2,230	+18.8%
特別損益	△ 69	—	△ 20	—	△ 89	—
税金等	455	+58.8%	473	+8.9%	928	+28.8%
当期利益	585	+55.1%	625	+9.7%	1,211	+27.8%



《 お問い合わせ先 》
(株)セゾン情報システムズ 経営企画部 IR担当窓口
171-0014 東京都豊島区池袋2-65-18

Phone: 03-3988-3477 Fax: 03-3988-7513
email kikaku@saison.co.jp
<http://home.saison.co.jp/SIS/>



SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.